

「床版取替」が累計8千億円超え

NEXCO3社、大規模更新進む

NEXCO3社が2015年度から進めている大規模更新事業のうち、工事件名に「床版取替」が入る工事の累計発注額が今年2月までに8000億円を超えた。事業初年度は1000億円程度だったが、年々発注が増え、20年度に単年度で約1600億円、翌21年度は約2000億円と、一気に発注が伸びた。23年度(2月まで)は4年ぶりに1000億円を下回ったものの約541億円が発注された。(発注額は本紙独自集計)

最前線を探る

大規模更新 NEXCO3社 床版取替発注額

事業者	15~19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	総計
東日本高速	453	158	216	543	136	1,506
中日本高速	1,166	1,114	1,476	336	144	4,235
西日本高速	581	368	316	786	261	2,312
総計	2,199	1,640	2,008	1,665	541	8,053

注) 23年度は2月分までの集計 (単位: 億円)

大規模更新は当初の計画を謳っていても床版取替以外の工事も行っており、そのうち床版取替は1・6兆円を占める重要な工事だ。昨年、新たな更新として追加された1兆円の中でも床版取替は5000億円に迫る額にのぼり、当初計画と合わせると2兆円以上の規模になる。

更新事業が始まった15年度からの床版取替工事の発注総額は、23年度の約541億円を加えると約8053億円となった。工事件名で「床版取替」が約1330億円、

北陸道が約810億円、東北道と中央道がともに約700億円だった。中央道は約1500億円、東北道は約1500億円、東名と中央道に負うところが大きい。

主な工事では名神の木曾川橋が約288億円、中央道の茂都計川橋他3橋が約253億円、東名の佐屋高架橋(下り線)が約250億円、いずれも中日本高速の案件。西日本高速では阪和道の雄の山第1橋他16橋が約246億円、九州道の矢部川橋が約152億円、東日本高速では北陸道の栄橋が約107億円、同社で100億円超の案件はこの1件だった。

—わが国唯一の橋の専門新聞—

橋梁新聞

SINCE1973

発行所
橋梁新聞社
郵便振替口座 00150-2-48179
東京都台東区東上野6-16-9
織田屋ビル6F B号室
〒110-0015 電話03(5811)1781(代) FAX03(5811)1782
www.kyoryoshimbun.co.jp

第1563号
2024年 4月1日
月曜日
昭和51年5月19日第三種郵便物認可
購読料/年間96,800円・半年50,600円(税込)
発行日 1・11・21日
発行兼編集人 澤田繁男 本間俊行
編集長 橋本 編集者 橋本

※本紙掲載の橋梁名やIC、JCT名は仮称も含みます。

小浜橋(Jランプ)

NEXCO西日本・関西支社



更新工事(5・9キロ)に含まれるランプ橋の架替え工事だ。

更新工事(5・9キロ)に含まれるランプ橋の架替え工事だ。同橋は、重交通の国道176号の跨道橋であり、交通規制や通行止めによる社会的影響を最小限にすることが課題であったが、短時間・短期間で架替え可能な新形式のプレキャスト合成床版橋として「NYラピッドブリッジ」が採用されたのだ。

壁高欄までプレキャスト化した製品ブロックを現場ヤードに搬入し、組み立て間詰めコンクリートを打設した後、一径間ずつ3夜間で多軸台

また、同橋で採用されたプレキャスト合成床版橋の共同開発者である日鉄エンジニアリングと横河NSエンジニアリングは、11日と13日の両日、国・自治体、高速道路各社、教育機関などの関係者に向けて現場公開した。

同橋は国道176号を跨ぐ橋長44.5メートル、幅員9・7メートル、4径間の3径間連続RC中空床版橋からプレキャストト鋼合成床版橋へ架替えられた。中国自動車道の中国池田ICと宝塚IC間橋梁架替え工事だ。

更新工事(5・9キロ)に含まれるランプ橋の架替え工事だ。同橋は、重交通の国道176号の跨道橋であり、交通規制や通行止めによる社会的影響を最小限にすることが課題であったが、短時間・短期間で架替え可能な新形式のプレキャスト合成床版橋として「NYラピッドブリッジ」が採用されたのだ。

壁高欄までプレキャスト化した製品ブロックを現場ヤードに搬入し、組み立て間詰めコンクリートを打設した後、一径間ずつ3夜間で多軸台

なお、中国池田ICと宝塚IC間の橋梁更新工事は、横河ブリッジ・三井住友建設・IHインフラシステム・奥村組・横河NSエンジニアリングJVが担当している。6車線を4車線で運用しながら3段階に分けて、中央分離帯部より線側へ下り線側の順に工事を実施している(繁忙期は6車線運用)。

※2面に関連記事

橋梁だけの落札結果「橋梁table-data」(設計・保全工事・新設下部工・新設上部工)

日鉄エンジニアリング 新形式のプレキャスト合成床版橋

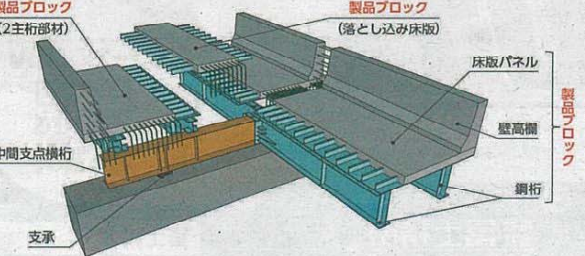
「NYラピッドブリッジ」を開発

軽量、急速施工、容易な維持管理

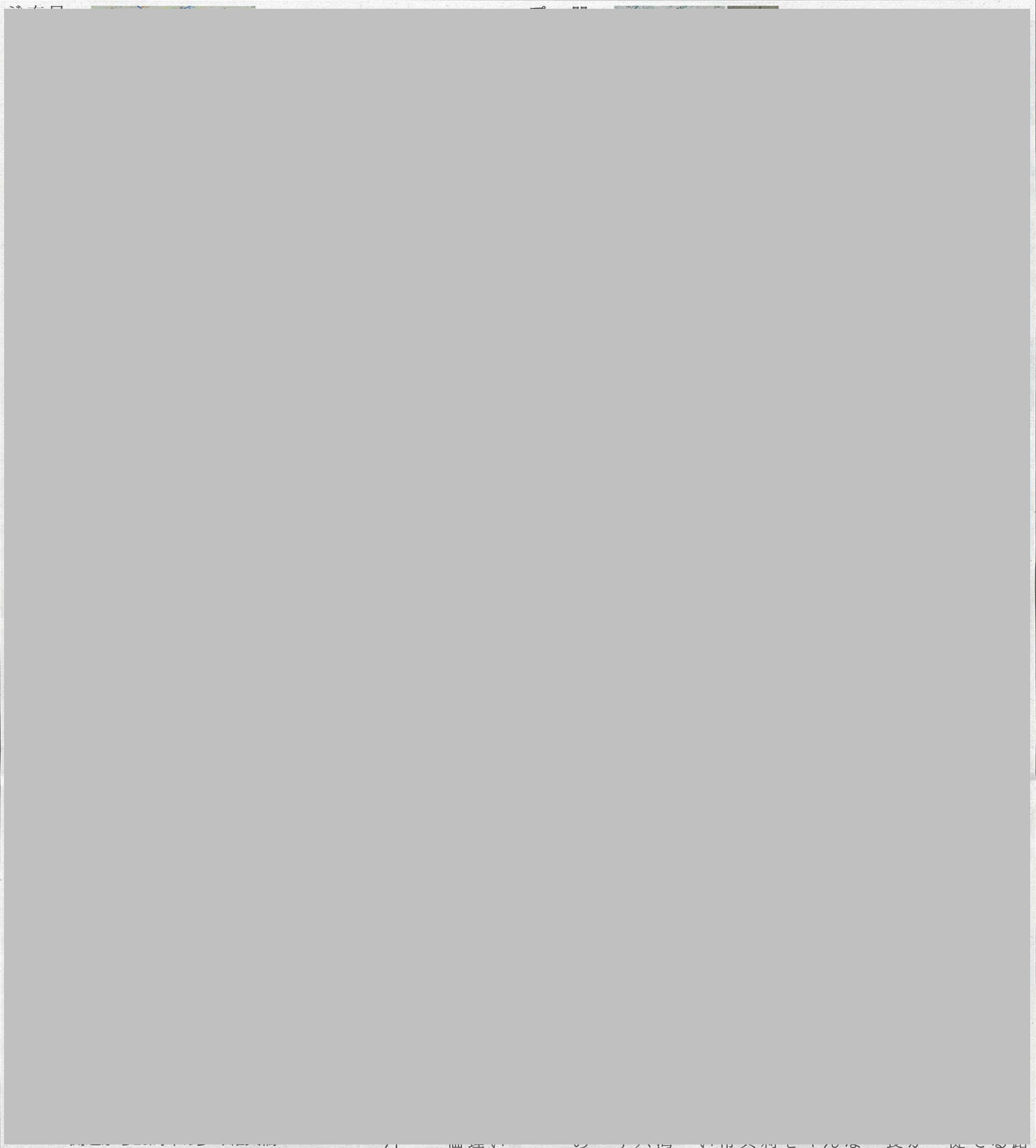
日鉄エンジニアリングと横河NSエンジニアリングは、橋梁の維持補修の需要にこたえるため、「NYラピッドブリッジ」を共同で開発した。これは「鋼桁+底鋼板+床版コンクリート」を一体化した軽量プレキャスト合成床版橋

レキャスト合成床版橋。施工日数が短縮でき、低桁高で補剛材を省略した凹凸の少ない構造にする。ことでも、維持管理性にも優れている。また剛性の高い支点上横桁を介して支承で支持されるため、支承配置の制約が少なく、さらに軽量であることから劣化したコンクリート製橋梁に対して既存の橋脚を活かしながらの架替え(分割施工にも対応)が可能である。とくに短工期施工や交差道路上・鉄道上などの桁高の制約を有する中小スパン橋梁に適している。

NYラピッドブリッジの概要図



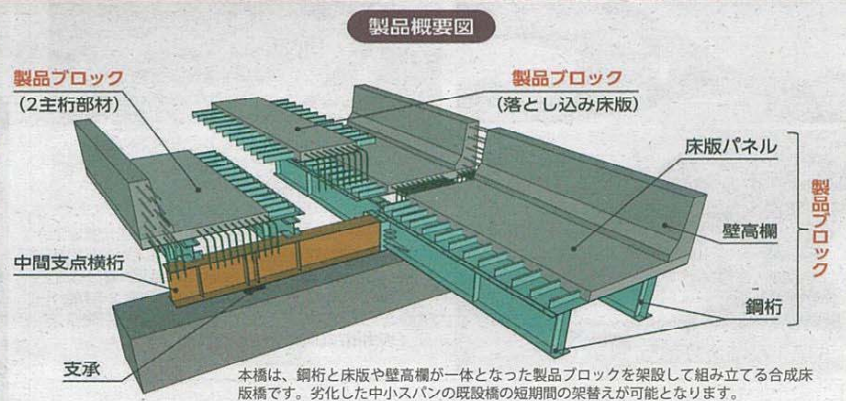
商品部 (03・6665・3370)、および横河NSエンジニアリング大阪営業部 (06・6244・0610) まで。



急速施工が可能な新形式の **プレキャスト合成床版橋** (NYラピッドブリッジ®)



発注者：西日本高速道路株式会社様
 元請：横河ブリッジ・三井住友建設・IHIインフラシステム・奥村組・横河NSエンジニアリングJV様
 工事名：中国自動車道（特定更新等）中国池田IC～宝塚IC間橋梁更新工事



株式会社 横河NSエンジニアリング

大阪営業部 ☎(06)6244-0610
https://www.ynse.co.jp/service/bp_detail.html#bp07



日鉄エンジニアリング株式会社

橋梁商品部 ☎(03)6665-3370
<https://www.eng.nipponsteel.com/steelstructures/>